

刊夕日十二月四



定価一円五銭 月五十五銭 郵費五銭  
 廣告料五號十二字第一行五拾銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 發行所 東京市本郷区本郷三丁目  
 電話 六三〇  
 印刷所 東京市本郷区本郷三丁目  
 電話 六三〇

### 人生は最高の藝術

眞 繼 雲 山

舞臺にあらはれる芝居は人生の喜怒哀樂と別のものではない、然るに人生のさまざまな場面を日々無料で見物してゐる世人は、何ゆゑ貴重な時間と、高價な入場料とを支拂ふて観劇に出かけるのであらうか、それは演劇とは人生の特長を集約したる理想の縮圖だからである。この理想の集約を藝術とはいふのである。電車の中にも美人は多い、道ゆく美人に一顧をもち、道ゆく美人が、何ゆゑ一枚の油繪、一幅の美人畫に千金を投ずるのであらうか、それは繪畫は美の理想の集約だからである、これを藝術といふのである。

### 雑 詠

渡 邊 武 門

手に掬ふ目高必死とはねにけり  
 庭の木々緑の深し更衣  
 種下す畦に來て居る鳥かな  
 柿若葉流るゝ星のありにけり  
 遠蛙しきりに眠氣催しぬ  
 草むらに胡蝶むるゝ日和かな  
 痛つきにしみゝ春を惜みたり  
 桑を摘む提灯見ゆる門畑  
 若葉雨聞きつゝ髪をつみにけり

は出来ないけれども、理想は高く天を翔けり得る、既に理想だけに高くば、その表現としての藝術はおのづから高き生命をもつてあらう理想なき者に、理想表現としての藝術のあり得やう道理はない、私たちは理想なくして漫然と地上を歩んではならぬ。高く理想を掲げて進むところに、おのづからその生活は藝術として表現せられる。

この故に、妻は良夫の前に藝術品であれ、藝者は客の前に藝術品であれ、すべての人は社會人として藝術的に生活せよ、より高き理想の表現が人生を莊嚴にする。

人生は最高の藝術でなくてはならぬ、人生とは最高の藝術である。

貴 金 屬  
 時計及眼鏡類  
 懷 中 電 燈  
 キミガヨ電氣  
 プランプ特約店  
**高 橋 時 計 店**  
 平 町 搦 小 路

### 祝昭和産業博覧會

大衆奉仕を念願として  
 中間層の御相手として  
 存立意義  
 一〇〇パーセントの  
 マルトモ食堂

新設いたしました  
 簡単に経済にと常に心  
 掛けて居ります

御會合に  
 御會食に  
 至極御便  
 利なる

平町四丁目  
**マルトモ食堂**  
 電話一三三番

マルトモ書店  
 マルトモ運動具店  
 も同様御引立願ひます

**玉屋洋品店**  
 平町四丁目通電話六五六番

東京市本郷駒込追分町

(茶代不用) 上野驛ヨリ(自動車約五分  
 電車約十五分)

### 駒込込館

一泊金一圓八十銭(食附但シニ食)

電話(小石川)三一六五番

### 通學服賣出

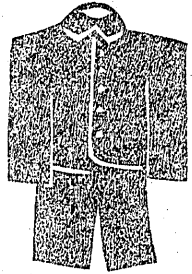
新學期が近づいてまいりました。  
 坊チャマ・嬢チャマの可愛い  
 通學服を色々取揃へました。

◇男児用  
 小倉服……0・85  
 同特製……1・70  
 紺サージ……3・40

◇女児用  
 紺セルセラー服…2・60  
 綿セルセラー服…1・10

防水マント種々取揃へて  
 御座ひます。

ふかや洋服店 平 三  
 電 203



### 柔道衣 新學期特賣!

右調度は品質確實にして斯界に定評  
 ある優良品である  
 東京、磐崎製柔道衣  
 京都正春製劍道具  
 右製品を責任を以て御奨めします

- ◇ 特 價 ◇
- 柔道衣 前一人用 2.70
  - 柔道衣 三人用 3.40
  - 劍道具 竹胴付 一人前組 11.00
  - 劍道具 竹刀附品付 1本 0.80

香味水仕の本場録茶を  
 召上りませ

電三九六番  
**大勝園**

特約販賣店  
 配達敏速

### 外科

専門 線光 X

上田外科醫院

平町南町  
 電話一二九番

# 菅の澤 開道の記念碑

## けふ盛大に除ま

### 開道功勞者の遺蹟輝く

#### 櫻花の下に祝宴

既報菅ノ澤開道記念碑除幕式はけふ午前十時半より舉行麗かな

春光に 恵まれて参列者多く白布に覆はれて建つ

氏其他開道功勞者の遺族並び立ち、功勞者中唯一の生存者たる吉村喜平氏が子息吉村町議に手を引かれて臨席附近道路を感慨深げに見廻す様は涙ぐましく光景であつた、定刻

發起者を代表して木澤常松氏が擧式の辭を述べ

神官の神禱奏上あつて木澤氏の工學報告を爲し山崎與三郎氏の令孫慶一君(五)と吉村安次郎氏の子息昭三君(三)とが紅葉の様な手に握る紐を引けば白布はパツリと落ちて安藤子爵の家額、巖谷小波氏の撰文に依つて功勞者の遺蹟を刻せる碑面燦然として輝き参列者一同喝采して

碑面を仰ぐ次いで佐々木委員長代理白土氏の別項式辭に次ぎ伏見町長來賓を代表して別項祝辭を朗讀巖谷小波氏よりの「今日の盛儀を祝す」との祝電披露あり遺族總代山崎與三氏

謝辭を述べ閉式後公園演藝場前樓下の下にて祝宴を開き數番の大神樂に感興深く参列者何れも大満悦にて祝賀氣分を濃厚ならしめた

#### 式辭

菅ノ澤道路開鑿記念碑建設工事完成を告げ櫻花爛熳たる本時を卜し茲に除幕式を擧ふるに當り來賓各位の貴臨を辱うしたるは洵に光榮とする所なり願ふに昔時平町より好問村に通ずる道路は元長坂を迂回し久保町の峻坂を往來し曲折崎嶇交通の不便名状すべからず人文の開發産業の發達を阻害せしこと蓋し渺からざりしなり、時人大に之を憂ふ會々先代山崎與三郎、神谷氏務、端山惟良、志賀竹次郎、佐々木佐太郎、吉村喜代治、長谷部淳輝の諸氏發記となり之が路線として菅ノ澤道路開鑿を計畫し漸ク官許を得て明治十七年十一月工を起し發記人自ら巨額の私財を棄て又地方特志の寄附を仰ぎ千苦を忍び萬難を排し約十ヶ月を費し翌十八年九月辛じて此の難工

事竣成を見たと言ふ、今當時發記人諸氏が心血を注がれたる苦心と努力の跡を追憶し轉た感慨敬慕禁ずる能はざるなり爾來交通益々頻繁にして此の利便に浴するもの幾千幾萬なるを知らず平町好問方部の繁榮も亦之に負ふ所極めて大なり、然るに是殆ど半世紀の舊事に屬し當時を知る者漸く稀に隨て其の偉功の空しく煙滅に歸せんことを遺憾とす仍て吾等相謀り其の事績を後人に傳へ兼て頌徳の意を表せんと欲し之が記念碑建設を企て漸く其の功を竣へ本日之式典を擧ぐるに至る是畢竟多數諸賢の此の舉に賛し多大の援助を與へられたるを以て事業の遂行を見たる所以にして茲に滿腔の誠意を捧げて感謝の意を表し聊か燕辭を述べて式辭とす

昭和七年四月二十日  
菅ノ澤道路開鑿記念碑  
建設委員長  
佐々木節次郎  
代理 白土正藏

祝辭  
道路の便益の利便りて

地方の福祉に關するや論なし、産業之れに因りて興り民福之に因りて興る夫れ道路のことたる菅にい藤藤を夷らけ以て行通を拓くこと既に難しとなす、巨費を造り勞役を辨じ以て一大道路を開鑿すること其の苦心困難固より常人の企及する所に非らず況んや工半ばにして資將に盡きむと奮然私財を擲り敢然工事を督し堅忍果斷以て一大工事を貫成せるに至りては其の勞苦や真に感謝すべく其の効績や永く頌揚すべきなり平町菅ノ澤の地三坂村を経て小野新町須賀川石川に通ずる要衝に在り因と交通の便乏しく里人常に崎嶇たる險坂を迂回し人馬の交通甚だ難む今を距る五十前年本町山崎與三郎氏の先考及吉村喜代治氏其他研町、古鍛治町の有志痛く之を憂ひ道路を開鑿して此の難を除かんとし工設計資金調達具さに辛酸を嘗め私財を投じ勞務を辨じ措据經營三年有半にして道路の換線を告げ後郡道となし更らに縣道に編入せらる今や樞要路線として人馬の來往最も頻繁を極め便に自動車交通の便を見往時を知るもの隔世の感あるに至り衆庶其便に浴し遠近其徳を頌す昭和六年此の時の有志相謀り碑を建て功を報し後昆に傳へんとし地を菅ノ澤に卜し篤志の義捐寄附に因り

經營閱月にして工を竣へ本日除幕式を擧げらる嗚呼感なるかな。仰へて其徳澤を頌し俯して其恩雲を偲び感激の念更に加はる希くは自今此

### 縣下中學校校長會議 各校提出の諸議案

磐城中學校に於て來る二十五、二十六の兩日開催され縣下中等學校校長會の協議事項及談話題の提出は昨日限り締切りをなしたが各校の提出題は次の如くである

△協議事項 (白河中學)

- 一、齒科醫手當支給の件
- 一、作業科實施に關する本縣の方針を指示せられたる件
- 一、明年度經費豫算に關する件
- 一、体操科指導者聯盟總會出席者に對する旅費支給に關する件

(福島中學)

- 一、縣内中學校生徒轉校に關する件(會津中學)
- 一、書記員賃人平均給増額を其筋へ建議する件 (双葉中學)

シヨウウエンド  
廿二日に開く  
審査延期  
平町いはき新報社主催の第二回店頭並にシヨウウエンド裝飾競技大會は既報の如く參加商店二十餘店に及び十六日より審査を開好

の碑を見るの永く其の遺徳を敬慕し其の鴻業に感奮せむことを謹みて祝す  
昭和七年四月二十日  
平町長 伏見彦衛

内郷區長決定 石城郡内郷村では此の程任期満期となつた九區長の後任選舉を行つた結果左記諸氏が決定した

- 大越惣兵衛 草野與平
- 金成源次郎 金澤慶一
- 廣木春之丞 齒部未造
- 下山田榮三郎 菅原定隆
- 山下喜代治

#### 新任磐城女校長

磐城高等女學校に來任する正木貞二郎氏は來る二十二日平着三時五十三分にて赴任すると

#### 平職業紹介所報告

- 求人部の部
- △洋服徒弟 十五才 尋卒 仕着小使(東京某洋服店)
- △看護婦見習 十七才迄 高卒 仕着外二圓(小名濱町某醫院)
- △鐵工見習 十六才 高卒 仕着外月二圓(平某鐵工所)
- △藥局見習 十五以上 高卒 仕着外五圓位(平町某)

#### 職求の部

- △事務員 十八才 中學二修 給料面談(平町某)
- △難夫 五十二才 尋四修 給料面談(平町某)
- △自動車修繕工 二十五才 高卒 給料面談(双葉郡木戸村)
- △土工夫 四十一才 無學 給料面談(平町某)

#### 平町人事

△千葉縣安房郡保田村字本郷川崎吉之助氏(二三)石城郡平町字新川町二三藤橋貞子(一八)

#### 磐城丸の進水式

七月十日執行  
水産試験場指導船磐城丸の建造は浦賀ドックで引受け目下工事を急ぎつゝあり六月末には建造を了し七月十日を以て進水式を行ひ直ちに同所から本縣に引渡されることになつたが同船にはなほ五千五百圓を以て最新式無線電話の裝置を施す管で農林省から三割方の補助を受けることになつてゐる

#### 体操巡回指導

六月下旬行ふ  
既報郡下各小學校の體操巡回指導は磐中磐女の體操科教諭が擔任し六月下旬頃草野小學校にて平、四倉、澤渡方部の講習をなした小名濱小學校にては植田湯本方部の講習を行ふ事になつた

# さのふの雨に勢ひつさ 櫻いよく満開

平町松ヶ岡や新川畔の櫻は昨夜来の雨に勢を得て所謂「咲きも残らず散りもやらず」の文字通り満開となりけふの快晴に絶好の花見日和である、一万人の最高潮に達した昭和博は連日非常な人出で賑ひ花と呼應して彌が上にも人氣を煽り遠近各地よりの団体で平町は非常の雑沓を呈してゐる、二十一日の郡下町村會議員大會に次ぎ二十二日は縣下統計主任會の催あり折柄の出入と相俟ち茲三四日間松ヶ岡や新川は宛ら人の海に花の波を現出することであろうと

## 昭和博も人氣の高潮點

- 松本 根本菊
- △第四區 鍛冶町 仲町
- 南町 大町 十五丁目
- (力丸 井上 黒木)
- △第五區 田町 南白銀町
- (横田 古川 矢野)
- △第六區 仲間町 番匠町
- 禰宜町 四軒町 柳町
- 九品寺前 海香町 北白
- 銀町(坂内) 小林 玉手
- △第七區 八幡小路 揚土
- 道匠小路 久保町 七軒
- 町(引地) 鈴木 中村
- △第八區 北目町 胡摩澤
- 六間門 杉平 舊城跡
- (吉成 坂内 平塚)
- △第九區 第三小學校區
- (上川 山口 藤田 丹野)

## 第三回統計大會

### 廿二日警中講堂で

既報第三回本縣統計大會は廿二日午前十時より平町警中學校講堂に於いて開催されるが本大會には村井知事を初め赤土内務部長、吉田統計課長等縣廳大官連が出席する外内閣統計局長の臨席もある。是れより本日相澤屬が出張開會準備に忙殺されて居る一方縣下各地の統計事務關係者の出席申込は千二百に及び盛會を豫想され型の如く式終了後松ヶ岡公園で園遊會を開く筈

## 校外取締

平第一小學校では全校生徒外取締の爲め區域を九區に分ち各職員を取締員に任命したが區域並に取締員は左の如くである(括弧内は取締員)

- △第一區 長橋町 大館
- 研町 菅ノ澤 古鍛冶町
- 新町(瓜田 根本 樋口)
- △第二區 材木町 才地小路 紺屋町(大和田 水竹 米本)
- △第三區 一丁目 二丁目 三丁目 四丁目(入江)

## 新陣容

平商業學校に於ける本年度入學生の各新入部員數は左の如くで殊に野球部及庭球部には平第一、内郷、小川校時代の選手が新入した關係から今後の活躍に目覚ましいものがある

## 平料理解受賞

平町料理解受賞は組合員が協力一致し縣稅並に遊興稅の納入成績良好であつたのである。是の程村井本縣知事より金一封の獎勵金を授與された

## 放火八件を自白

### 佐藤久逮捕さる

石城郡内郷村宇高坂居住佐藤久(三)は昨夜九時頃平町長橋町性源寺に忍入り靴衣類等を窃取逃走せんとしたのを密行中の平署員に取押られたが取調の結果同人は昨年中石城郡好間村宇川中子一木田トク方に放火して檢舉された外前後八回の放

## 少年家出

平署に捜査願 石城郡湯本町宇領城居住探

明日のラジオ

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話し「仙臺市學務課長 池田菊左工門」
- 後七、三〇 古老夜話「農村今昔談」田子英吉
- 後八、〇〇 長唄「紀州道成寺」住田又次郎外
- 後八、三〇 獨唱 大田黒
- 養二 ビアノ伴奏リジヤ

明日の部

- 前七、〇〇 小鳥の春
- 前九、一〇 料理献立「雞鳥蒸し焼」松本良雄
- 前一〇、三〇 家庭講座

シヤピロ

- 後九、〇〇 連續講談「曉星五郎終席」寶井翠凌
- 後九、三〇 奉天より
- 後九、四〇 全國ニュース
- 氣象通報 番組豫告

「家計簿の記」大原信徳

- 後〇、〇五 管絃樂 東京ラヂオオーケストラ 指揮 山崎貞吉
- 後二、〇〇 家庭大學講座「文藝の林園萬葉集」武島又次郎
- 後六、〇〇 子供の時間
- 「お伽歌劇とカナリヤ」
- 北村兒童歌劇
- 後七、三〇 運動講座
- 「今春リーグ戦の展望と新人」評河合君次
- 後八、〇〇 浪花節 東家樂遊
- 後八、三〇 端唄 仇吉
- 後八、五〇 放送映畫劇「銀座の柳」結城一郎外
- 後九、三〇 奉天より

## 六百圓の怪

### 平署で取調續行

千葉縣生れ當時石城郡内郷村宇平太郎越後炭礦長屋居住五十嵐さよ方同居人田中與造(三)は十八日平署に舉動不審として檢舉され取調の結果

## 町村會議員大會

### あす平第三講堂で

既報石城郡町村會議員大會は明廿一日午前十時より平町第三小學校に開催されるが尙當日の協議事項並に諮問事項は左の如くである

- 協議事項
- 一、町村會議員の選舉は府縣制第十三條の二及之に關する諸條項を適用する如く町村制中一部改正を要望するものとす

- (好間村提出)
- 一、米專賣法制定方其筋建に議する件
- (王川村提出)
- 一、町村會議員大會を毎年一回開催の件
- (磐崎村提出)
- 諮問事項
- 一、自治の圓滿なる發達振興方法如何

## 拾つたと吐かす

炭夫新妻久治(三)の四男君雄(七)は昨年より神經衰弱の爲め學業を退き治療中であつたが今月に入つて病勢が一層悪化したので家人が

監視中昨十九日夜八時頃家人が附近に出かけた留守中に突然行衛を晦したので平署に取押方を願出た

## 山本檢事出發

平區裁判所檢事山本稜威氏は今回異動に依り山形地方裁判所へ榮轉今朝平發八時五分にて出發したが後任は仙臺地方裁判檢事上田次郎氏で来る廿五日頃赴任する筈

# 豪末剣士

〔禁轉載上演及映畫〕

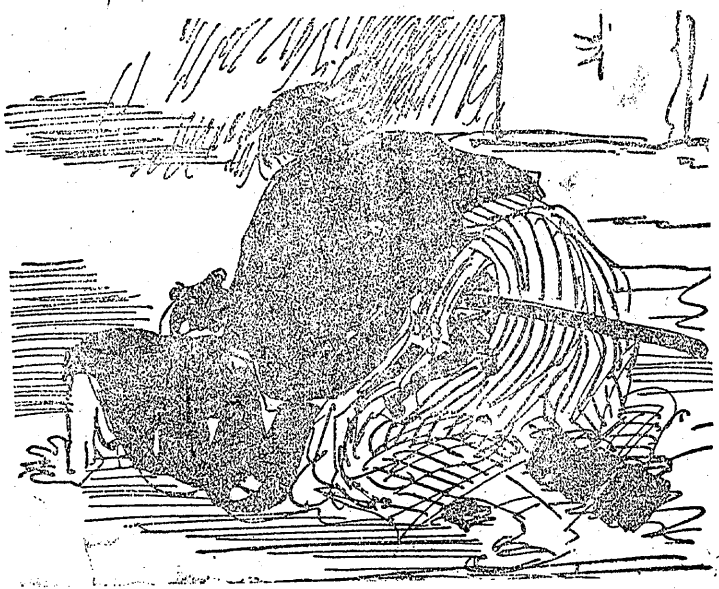
悟道軒 圓玉 演  
近藤 紫雲 畫

〔第卅一席〕

神影流の達人秋山要手

三次の身代りに  
秋山要介は駕昇二人を榎木に縛し付けて

要「神妙にいたし居れ國先生どうぞ命はお助け下さいまし要「貴様達の命を取つて何とする暫時それに控へて居れ」と云ひすて寄居の方を指して行く蝮の八はこんな事になつたとは知らず六地藏の簞の中に鐵砲を持ち要介の駕が来たならば一發の下に射止めるつもり、又秋葉の三次はこの竹藪より四五丁小川に寄つた、馬頭觀世音と刻した石碑の後に竹槍を持つて忍び、要介の駕が見えたならばこれを八五郎に知らせる事にしてある、秋山はこの馬頭觀世音の石碑の後に來てそつと忍び寄つた事とて三次はこれに心付かずもう見えさうなものだと伸び上つて小川の方へ目を着けた時に要介が鐵扇でビシッツと脊を打つた、アツと言つた三次がヨロ／＼とよめく所を足にてポンと蹴つた、三次はバツタリ前へ倒れる、それへのしかつた要介は兩膝にて脇腹をグツと締つけ同時に首を押へ付けて



要「神妙にしる、騒ぐは

者はこの先の六地藏の竹藪の中にゐるか」  
三「左様でござんす、八は鐵砲、周助は竹槍を持つて居ります」  
要「卑怯な奴だ、寄居の名主新右衛門よりの使ひと偽り俺を引出して飛道具にて殺さんと語り居るとは」  
三「これでも先生は豪傑でござんすから尋常な事では殺らせる事は出来ません」  
要「なんだ、ぬむらせるとは」  
三「わたくし共の方では殺す事をねむらせると申しませう」  
要「成る程死すれば永久に

れてゐますから八五郎にも周助にも聞えない、要介は刀の下緒で三次の腕をく、ズイと身を引いて  
要「立て、  
三「どうぞ御勘辨下さいまし」  
要「八五郎に周助とか申す

の首を引抜くぞ」  
三「誰だ、コレ冗談するナ、俺は三次だ」  
要「拙者は秋山要介だ」  
三「エッ秋山だ、ア大變だ、オ、オ、オ、秋山が來た、やられた」  
と云つたが間が四五丁も離

要「これへ參れ」  
三「ヘエ、これへ參つて何處へ參ります」  
要「六地藏の前まで行け」  
三「それは大變このかごへ乗つて出懸れば先生が乗つてゐるものだよ、思つて八が鐵砲を射込みませう」  
要「さうだ、俺と思つて貴様を狙ひ射にいたすであらう」  
三「そいつは先生悪い洒落だ、どうぞお助け下さいまし」  
要「此期に及んで卑怯な事を申すナ、何事も天命に任せ置け、逃げんといいたすと逃しはせぬぞ」かごに押し縛りつけてバラリと垂れを卸し、之から榎木に邦し付けて置いたかご昇の繩を解きて

要「これを昇いで行け、  
熊「畏まりました」  
要「コレ三次とやらこれから貴様を六地藏まで運び、八五郎の鐵砲の逃れる時は助けて遣はす、討たれたならば是迄の壽命と諦めろ」  
三「それは大變だ、ヤイヤイ熊に國、てめえ達が先生に今夜の一件をばらしたからこんな事になつたんだ」  
熊「愚痴を云ひなさんナ、俺だとして好んでこの事を知らした譯でねえ、自然と先生に知れただ」  
三「仕様のねえ奴だナ」  
要「どうも仕方がねえだ、今迄犯した罪の酬いが來たと諦めろ、然し鐵砲などといふものは減多に中るものでねえ」  
三「めつたに出逢つた節に

は死んでしまふ」  
熊「男らしくねえ事を云はつしやるナ、それでは先生徐々に出懸ますかナ」  
要「持つてゆけ、コレ三次口を利くナ、聲を立てるなよ懲うしてくれろ」と手拭で口を縛る  
要「これなら宜しからう、コレ／＼かご昇地蔵堂まで持つて行けばその骨折として一兩づゝ遣はす途中にて其のかごを棄て、逃げると小柄を飛ばし貴様達を打殺すぞ」  
熊「イエ、逃げるやうな事はいたしませんサア國藏しつかり肩を入れろ一兩になる仕事だ」これを聞いた三次が此奴等は不人情な奴だと思つたが口を利く事も出来ない。

**時計眼鏡**  
ト キ ワ ヤ  
ト キ ワ ヤ  
平一・電三三九

**見習生募集**  
十四才より十六才迄  
**高橋時計店**  
精幸堂 號  
— 委細面談 —  
平町掻槌小路  
(キクチ自動車店向)

**セメント**  
壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス

磐城セメント株式会社  
代理店 **西村屋薬舗**  
平町二丁目電三三

**開店の御挨拶**  
福島貯蓄銀行は眞の庶民金融として最も簡便に貯金の機會を得て實行し得る様各地に代理店を設置し着々よき成績を擧げて居ります。我平町は海岸地方に於ける經濟界の中心地にして往年各位の御引立を蒙り相當の實績を見たので今般大藏大臣の認可を得まして左記の處へ福島貯蓄銀行平支店を新設して  
**四月十四日**より開業致しました  
何卒多少に拘らず御引立の程を願上ます。  
平町田町壹番地  
株式会社 **福島貯蓄銀行平支店**  
電話三〇八番

**ロクマクの人 心配無用**  
不治の病とは過去の事です、醫藥を用ひて抄々しくない方靈能偉力を有する「マムシ」を用ひて下さい、但し素人の幼稚なるマムシの服用法にては効果ありません、今回研究部員が秘法公開致します、遠慮なく相談にお出下さい、  
◎特におすゝめ致し度い方説明書差上ります。  
心臓病の人 胃腸病の人 性力欠乏の人 神經衰弱の人 体力の衰へたる人 食慾なき人 冷性婦人病の人 腎臓病の人  
東京市淺草田島町九一川上蛇類研究所  
平町五丁目二二(金光堂時計店裏)  
代理販賣所 **井内**